

2023.10.27.

環境デザイナー 長谷高史

今 小日向台町小学校の改築計画が進んでいます。地元では、何の説明の無いまま、議会承認され、設計者選定が進行しています。この計画では、工事に8年間を要し、周辺道路が周囲共 4m の為に3トン車しか使用出来ず、周辺への交通障害が永く続きますが、それらについても一切の説明がありません。さて、この問題を解決する提案があります。

小日向台町小学校は、関東大震災後の復興小学校として1938年に建設されました。この復興小学校は、殆どが建て直されて、今では小日向台町小学校だけとなりました。この事から、是非保存修復し、耐震補強、設備工事を実施して、これからの新たな小学校教育の拠点として、最先端設備のある有形文化財として、小日向の資産として継承していく事こそが、文教の区としての行政及び教育委員会の仕事だと思えます。皆様 是非この運動に賛同頂きたく、お願い申し上げます。

昨年 墨田区向島の区立言問小学校が国の有形文化財に登録される見通しとなりました。墨田区の教育委員会は早稲田大学建築工學部に調査を依頼して「極めて貴重な」建築物として評価されたことから文化財登録に向けて活動をして

いた。文京区の教育委員会も早く小日向台町小学校の価値に気付き、建築学会や建築家協会に調査を依頼して頂きたい。

改築、新築だけが文京区の教育委員会の仕事ではありません。

文化財保存、保護も大事な仕事です。もう元町公園のような展開は御免です。

区内には国立の小学校に同じく 1936 年建設の現筑波大学附属小学校が現存し、今も使われています。

